

令和4年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第3回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日時	令和4年9月14日（水）	15時10分～16時30分
場所	常葉大学静岡草薙キャンパス	A201 教室
	静岡瀬名キャンパス	大会議室
	静岡水落キャンパス	206 教室
	浜松キャンパス	トコハホール
研修内容	①学生アンケートの結果と指導教員の役割	学生部長 今村 貴幸
	②授業アンケートの結果と指導教員の役割	教務部長 出口 憲
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	199 人
	静岡瀬名キャンパス	20 人
	静岡水落キャンパス	60 人
	浜松キャンパス	129 人
	合計	408 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和4年度第3回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

まず、今村貴幸学生部長から「学生アンケートの結果と指導教員の役割」として、「学生生活アンケート調査の目的」「アンケート調査結果（2019年～2021年の3年間）」「今後の課題とまとめ」について講演があった。2021年度の学生生活アンケート回収率は、4キャンパス平均で「77.5%」であった。「いじめやハラスメントに対する有無」は、「なし（経験なし）」と回答する学生が「おおよそ99%」である一方、残り「1%」近くが経験していることから、数値的に少ない課題に対する対応の検討の必要性について話があった。また改めて、指導教員が学生と各支援センターとの窓口になることの重要性についても話があった。

続いて、出口憲教務部長から「授業アンケートの結果と指導教員の役割」として、「授業アンケートの必要性や状況」「授業アンケートの結果・分析」「指導教員の役割」について講演があった。「授業アンケートの回収率」は、マークシートで実施していた2019年度「8割以上」であった。web回答に移行した2020年度以降、回答率が減少傾向であるが、2022年度から授業内でweb回答するよう改善し、回収率の向上を試みている。学生が授業改善で望むこととして「授業の実施方法」「教材・資料のわかりやすさ」が上位であるため、授業ごとの実施形態・方法を検討とともに、教材・資料の作り方や選定等を見直す必要性もある。また、指導教員の役割として改めて「履修状況の確認」「成績が振るわない学生に対する指導記録」についても話があった。

司会者からは、本日の研修内容を参考に、10月学部学科によるFD研修会のテーマを学部学科ごとに策定して、研修会を実施するよう依頼があった。